

「グローバル地磁気観測分科会活動報告」

九州大学宙空環境研究センター
湯元清文

当分科会は、日本学術会議地球電磁気研究連絡委員会・地磁気観測小委員会と協力して、(1) 地磁気観測の将来計画策定、(2) IAGA 第 XI 回地磁気観測データ処理技術会議 2004 日本開催の企画実行、(3) 日本学術会議、大学、各機関など変革の動きの情報交換を主な目的として活動をおこなっている。平成15年9月以降3回行われた分科会の議事録をまとめ活動報告としたい。

1) グローバル地磁気観測分科会

日 時：平成15年11月1日12:00~13:30

場 所：富山大学 人文・社会系共通教育棟1番教室

出席者：湯元清文（九州大学）、西田泰典（北海道大学）、岡野章一（東北大学）、三品正明（同）、歌田久司（東京大学）、本蔵義守（東京工業大学）、遠山文雄（東海大学）、利根川豊（同）、荒木 徹（京都大学）、田中良和（同）、家森俊彦（同）、亀井豊永（同）、能勢正仁（同）、吉村令慧（同）、行武 毅（海洋科学技術センター）、山崎俊嗣（産業技術総合研究所）、中川弘之（国土地理院）、石原 操（同）、松岡彩子（宇宙航空研究開発機構）、藤井郁子（地磁気観測所）

議事要旨：

- (1) 第11回 IAGA 地磁気観測国際ワークショップについて、国内組織委員会の各部会から準備状況について報告され、解決すべき課題について討議した。
- (2) 第19期学術会議においても地磁気観測小委員会を継続し、地磁気観測の問題点についての検討を引き続き行っていくことを確認した。

2) 平成16年度第1回 IAGA 地磁気観測国際ワークショップ国内組織委員会

開催日時：平成16年4月20日 15時15分~17時20分

開催場所：気象庁地磁気観測所 会議室

出席者：湯元清文（九州大学）、亀井豊永（京都大学）、岡野章一（東北大学）、家森俊彦（京都大学）、菊池 崇（CRL）、中塚 正（産総研）、岡田正実（地磁気観測所）、雨宮秀雄（国土地理院）、吉村令慧（京都大学）、能勢正仁（同）、牧 廣篤（気象大学校）、山本哲也（同）、山崎 明（同）、角村 悟（同）、柿岡事務局（横山、今泉、徳本、小出、小池、他各部会員多数）

議事要旨：

- (1) この会議の目的は、柿岡の人事異動により担当者が入れ替わったため LOC メンバーと地磁気観測所員と顔合わせを行い、各部会の進捗状況の確認をし、5月11日の合同大会の全国的な場で再確認、11月までにどのようなスケジュールで行くかを定めることであった。各部会の自己紹介の後、各部会の進捗状況をまとめて報告してもらい、各問題点とその対策について検討した。

3) グローバル地磁気観測分科会

日 時：平成16年5月11日12:15~13:45

場 所：幕張メッセ国際会議場301A会議室

出席者：湯元清文（九州大学）、吉村令慧（京都大学）、荒木徹（同）、能勢正仁（同）、田中良和（同）、大志万直人（同）、家森俊彦（同）、亀井豊永（同）、利根川豊（東海大学）、長尾俊恭（同）、塩川和夫（名古屋大学太陽地球環境研究所）、田口真（極地研究所）、長妻努（情報通信研究機構）、國武学（同）、杉浦正久（同）、雨宮秀雄（国土地理院）、石原操（同）、川原敏雄（同、水沢）、西田泰典（北海道大学）、茂木透（同）、中塚正（産業技術総合研究所）、山崎俊嗣（同）、角村悟（気象大学校）、山本哲也（気象研究所）、岡田正実（地磁気観測所）、徳本哲男（同）、今泉孝男（同）

議事要旨：

- (1) 第11回 IAGA 地磁気観測国際ワークショップについて、国内組織委員会の各部会から準備状況について報告され、それをもとに今後の作業内容を確認するとともに作業スケジュールを決定した。
- (2) 最近の日本学術会議、国立大学の独法化、地球環境サミット後の動きについての意見交換がなされた。